

# こうとう民報

2014年 5月号 115

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会  
責任者 猪又 武夫  
住所 江東区東陽2-3-5-203  
電話3648-5155FAX3648-5137  
ホームページ  
http://www.koto-minpo.jp/

代々木公園で開催された第85回中央メーデーには2万7千人が参加しました。江東区からは、区職労、機関紙印刷所労組など労働組合や地域のみなさんが参加しました。



## 「なくせ原発 江東区民パレード」再稼働許さず すべての原発即時廃止を

4月20日、森下公園で開かれた「再稼働許さず、すべての原発即時廃止」を掲げた区民集会とパレード（江東区大運動実行委員会主催）。このパレードには、実行委員会に参加する諸団体、区民ら200名余が参加しました。

区に避難している豊島力さんが、「原発はいらない」「米・野菜を作りたいが原発事故で作れない。悔しい」と実情を訴えました。

2月に都知事候補としてたかつた宇都宮健児さんは、「都知事選で掲げた政策の一つが、東京から脱原発を発信すること。福島のみなさんが福島で発電された電力をまったく使っていない、最大の使用者は東京の都民なのです。東京都と都民が原発ゼロの声をあげなければと訴えてきました。」

集会は、名越区労連青年部長の開会挨拶で始まり、江東

りが多く不安。また、夫や母など家族を長年介護するなかで、「もう限界」「介護制

「就職できない」「夜遅くまで働いて病気になる不安」「心配」「給料が安く結婚でき

## 区民アンケートに

### 2000通を超える声

度が十分でない」「施設入居ができない」などの切実な悩みが、本当にたくさん寄せられました。

「都営住宅や保育園が足りない」

「都営住宅や保育園が足りない」

「若い人まで、暮らしや居住

## 署名と宣伝行動 憲法キャラバン 集団的自衛権行使容認の解釈改憲許さず

4月27日、亀戸天神の藤まつりでにぎわう亀戸歩行者天国で、憲法キャラバンが江東大運動実行委員会の主催で取組まれ6団体12名が参加しました。安倍内閣による「集団的自衛権」行使容認の動きが急速に進むなか、改憲策動を阻止するために江東区議会が、「集団的自衛権行使を容認する憲法解釈に反対する意見書」を国に提出することを求める署名と宣伝をおこないました。千枚のティッシュ付チラシの配布を行い、「絶対に戦争は反対です」と言って署名が56筆集まりました。

かが重要です。

私たちは微力でも、集まれば大きな力となります。みなさんと一緒にたたかいます」と挨拶。

集会後、デキシーパード先頭に門前仲町の深川公園までパレードし、沿道の区民にアピールしました。

## 原発はなくして!

政府が原発再稼働の動きを強めるなか、「原発と人類は共存できない」「原発はただちになくして」「東北・福島

## 安全対策や散歩道の整備

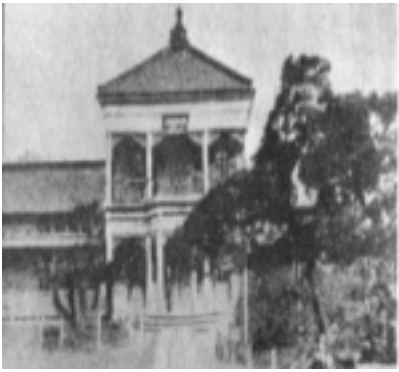
今回のアンケートでは地域の住民の人でないことから歩道や信号などの改善問題、公園の整備、ゴミの不法投棄問題など、暮らしのなかで感じている様々な要求がたくさん寄せられました。

区議団は寄せて頂いた声をもとに政策課題を整理するとともに、地元の細かな要求も地域のみなさんと解決する取り組みを進めています。

## 脚題

憲法記念日をふくむ大型連休中、安倍首相のほか15人もの閣僚が公金を使って外遊しました。日本の安全保障にとつて危惧される尖閣諸島問題に対して、話し合いのドアはいつでも開いているといいながら、中国を訪問するものは1人もいません。首相は、4月29日から5月8日までの10日間、欧州6カ国を訪問。解釈改憲による集団的自衛権行使容認や武器の共同開発と輸出をすすめる「防衛装備移転三原則」の説明をするためです。1日、「新しい憲法を制定する推進大会」で改憲手続き法定に8党が合流し、自民党を核とする「オール与党」の動きが加速。2日、石破自民党幹事長はワシントンで講演し、「自衛隊が地球の裏側に行く場合もまったくわけてではない」と公言。3日には、「国家のあり方を問う! 憲法改正の早期実現を」フォーラムを「21世紀の日本と憲法」有識者懇談会が開催しました。しかし世論は激変し、「九条を改正すべきではない」が51%（毎日、3日付）、「集団的自衛権行使を認めるべきではない」が41%で、賛成34%を上回りました（NHK）。67周年憲法集会には3700人が参加、13日は国会包囲、そして17日には全東北首長九条の会連合が結成されました。結党以来反戦・平和の日本共産党は、北東アジア平和構想を掲げて全国津々浦々でここを先途（せんと）と奮闘しています。

「学制の公布と江東の学校」



明治小学校の当時の校舎

概説 江東の歴史 (33)

明治政府は、1869(明治2)年、各府県に「小学校ヲ設ケル事」を決め、東京府は六つの小学校をつくり、「第六校」を東森下町長慶寺内に設けました。「学制」公布の翌年、1873(明治6)年、「第六校」深川学校のほかに牛島学校、村松学校ができ、その後、移転、合併、改称されていきます。

明治期にできた深川地区の小学校は、深川(明治8年)、東川(同8年)、明治(同10年)川南(同16年)東陽(同33年)六間堀(同35年)扇橋(同37年)臨海(同38年)元加賀(同40年)。

亀戸には1876(明治9)年に亀戸学校ができ、1897(明治30)年に立志学校と合併して亀戸小となりました。第二亀戸小は1911(明治44)年。

大島では、1883(明治16)年にできた沖島と永平の2校が1891(明治24)年に合併して大島小となり、第二大島小は1910(明治43)年。

砂村では、1883(明治16)年に小島、関口、木村、横田の4私立校が解散、公立の中川、砂村の2小学校ができ、1891(明治24)年の合併で砂村小となりました。

(注：当初は校舎の維持、教材・教具は地域住民や父母負担。江東には、読み、書き、算だけの私塾が50、1890(明治23)年の深川区には私立校21(生徒数2169名)、公立校4(1520名)で就学率74%。1911(明治44)年に公立校17で就学率も97%となりました)

1886(明治19)年、小学校は4カ年の尋常科と高等科にわけられ、1907(明治40)年には6カ年と2カ年に改正。高等科は明治、深川など7校におかれまして。

このほか、貧困者の子弟のために授業料を免除、学用品を支給し、浴場や理髪設備のある特殊学校の霊岸(大富)小と猿江(毛利)小があり、夜学校も併設されました。

1899(明治32)年、中等学校として実業学校が設けられ、江東には、府立実科工業学校、亀戸実業女学校、私立の深川家政女学校ができました。

～2014年平和大行進 夢の島を出発～

核兵器廃絶の世論を広げよう!



今年で57回目の「国民平和大行進(東京)広島コース」が、5月6日、江東区・夢の島の第五福竜丸展示館前を出発。出発集会には、800人以上が参加しました。

大型連休最終日の東京は冷たい風が吹く曇り空。集会冒頭、司会者から「今朝すでに」と寒い北海道・礼文島から東京へ向けて平和行進がスタートしています」と報告されました。

連帯あいさつが4団体からあり、第五福竜丸平和協会代表・川崎理事は「来年は広島、長崎の被爆70年、核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれます。世界的な核廃絶の世論を盛り上げていきましょう」と呼びかけました。

4月25日、江東文化センターで「組織拡大交流&労働相談」を開催。前沢壇さんによる講演が行われました。



講演をする前沢壇さん

5月14日、ティアラこうとうで都教組江東支部定期大会が開催されました。江東支部が毎年おこなっている「教職員の声アンケート」では、「体調を崩しているが病院に行く暇がない」、「もつと授業の準備に時間をかけた

5月18日、全日本年金者組合江東支部・第19回総会が西大島総合市民センターで行なわれました。代表挨拶にたった大瀬支部長は、2・5%の年金引き下げが行なわれたことに対する

この国を守っていただく。原爆も原爆もない未来を手渡してください」と訴え、参加者の心に強く響きました。今年初の「国際青年リレー行進」として、広島までの通し行進を行う日本と海外の青年合わせて7人が紹介され、東京、広島からの参加者2名と各地から参加する通し行進者が決意を述べました。

出発集会の後、東京、広島コースがスタート。90日間をかけ各地をまわり、8月4日に広島市の平和記念公園へ到着する予定です。江東区労働者相談センター主催の「労働相談センター」の前沢壇所長は、最近の雇用情勢にふれて「現在は、3、4人に1人が非正規。新卒者の5割が非正規で年収200万円以下」であることを指摘。安倍政権は労働者派遣法を改悪し、正社員の業務をすべて派遣に置き換えるなど労働法改正の改悪を狙っていると紹介。そのうえで労働者は、現行法で保障されている権利(労基法)を活用して、仲間を増やした

たかおうと強調しました。都教組江東支部・女性部定期大会。年金者組合江東支部。第19回定期大会。江東支部。ストップ! 安倍政権。闘争する。大会では、安倍内閣の「教育再生」をストップさせ、教育を守るうとの決議が採択されました。



いのにできない」など職場の現状が報告されています。組合として、産業界による4回の健康相談会の実施などの成果にも触れて一年間の活動報告が行なわれました。大会では、安倍内閣の「教育再生」をストップさせ、教育を守るうとの決議が採択されました。来賓挨拶にたったそえや良夫区議は「年金は高齢者の問題だけでなく、非正規雇用が増える中で、若い人たちにとっては保険料を納めるのも、将来、受け取るのも成り立たなくなってしまうような状況にある。来年の一斉地方選挙で、安倍政権の暴走にストップをかけ、生活を守る政治を江東区からつくりていきましょう」と訴えました。あぜ上三和子都議も参加しました。

- 行事予定
○6月5日(木) 14時半、18時半
映画『ひまわり』江東区上映会、江東文化センター・ホール
○6月7日(土) 18時半
青年学習講座『ブラック企業をなくそう!』産業会館・江東青年日本共産党後援会
○6月11日(水) 12時
『花咲デモ』東陽公園
○6月22日(日) 13時
『介護保険シンポジウム』砂町小学校体育館
○6月27日(金) 16時半
『64次教研集会』江東文化センター・都教組江東支部
○6月28日(土) 18時半
映画『シロウオ』上映会、ティアラこうとう